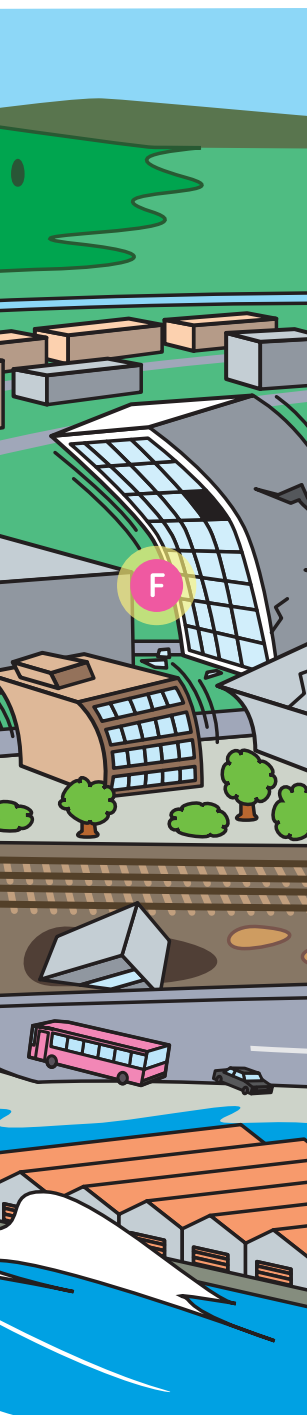


どのような被害が発生するのか考えてみましょう。



A

山の被害

山崩れが発生すると、住宅に土砂が流れ込みます。また、がけ崩れにより生活道路が通行できなくなります。

B

住宅街の被害

耐震性の低い建物は倒壊します。住宅密集地では複数箇所と同時に火災が発生するおそれがあります。また、家屋の倒壊や家具の転倒により、多くの死者やケガ人が出ます。

C

鉄道の被害

地震の揺れによって線路が変形し、運行の再開までに時間がかかります。走行中の列車が脱線する可能性もあります。

D

道路の被害

高速道路が通行止となります。一般道は通行規制や通行止により渋滞が発生します。一般車両の渋滞が、消防車や救急車など緊急車両の救急・救助活動を妨げる原因となります。また、倒壊した建物が道路をふさぎます。

E

駅周辺の被害

鉄道やバスなどの公共交通機関が運休すると、駅などで多くの人が移動できなくなり、行き場を失います。自宅に帰ることができない帰宅困難者が発生します。

F

高層ビルの被害

高層ビルなどでは、地震の揺れと建物の揺れが共振すると、高層階で長い周期の揺れ(長周期地震動)が起きる場合があります。地上ではガラスや外壁などの落下に注意が必要です。

G

地下の被害

津波による浸水や、地下街では、天井のパネル、壁面、ガラス、吊りモノ等が落下し、ケガ人が出ます。また、大勢の人が一斉に出口へ押し寄せて、集団転倒が発生する可能性があります。

H

埋立地の被害

埋め立て地などの軟弱な地盤では、液状化現象により、建物や電柱が傾いたり、沈下する可能性があります。

I

川の被害

橋が崩落し、道路が寸断されます。堤防が沈下し浸水するおそれもあります。津波のさかのぼりにも注意が必要です。

J

海の被害

地震が海底で起きると、津波が発生します。津波は繰り返し押し寄せて、最初に到達する波よりも、2番目、3番目の波が高くなる場合があります。



□ 地震だけではなく、巨大台風などの風水害にも注意しましょう。

